

2022年度知能システム学専攻8月入試（博士前期課程）について

知能システム学専攻

1. 概要

- 1.1 本専攻の8月入試（博士前期課程）は同時刻に対面方式とオンライン方式のハイブリッドで実施する。
- 1.2 原則、オンライン受験は渡日が難しい国外滞在者のみを対象とし、それ以外の受験者については例年通り対面式で実施する。

2. 試験時間・オンライン受験者向け接続チェックの日付

- 2.1 筆記試験は8月5日（木）に下記のスケジュールで実施する。
 - 12:30～13:20：解析・線形代数
 - 13:35～14:25：確率・統計
 - 14:40～15:30：プログラミング
- 2.2 口頭試問は8月6日（金）に下記のスケジュールで実施する。口頭試問の受験を必要とする者については当日の9:30までに情報学研究科ホームページに掲載する。
 - 13:00～：口頭試問
- 2.3 8月4日（水）にオンライン受験者を対象に接続チェックを行う。**オンライン受験者は必ず参加すること**。どうしても参加できない場合は事前に相談すること。

3. オンライン受験の対象者

- 3.1 原則として、**渡日が難しい国外滞在者**で、出願時に申請し認められた者。該当者は**志望理由書末尾に「国外滞在のためオンライン受験を希望する」と記載**すること。
- 3.2 特別な理由がある場合は国内滞在者にも審査の上、認める場合がある。該当者は志望理由書の末尾に「国内滞在であるがオンライン受験を希望する」と記載した上で別途、理由を説明した書類を同封すること。

（以下は特に断りのない限りオンライン受験者に対する説明とする。）

4. 筆記試験におけるカメラの設置方法について

- 4.1 図1のように**パソコン画面・手元・顔の3点が同時に映る位置に設置**する。
- 4.2 答案用紙に書いている内容が映像から読み取れないよう、カメラの設置位置はあまり高い位置としないこと（図2参照）。

- 4.3 ノート PC を使う場合、外部ディスプレイを使用しても良いが、その場合はノート PC と外部ディスプレイの両画面が映るように留意すること。
- 4.4 右図のような装置を準備することが望ましいが、倒れないようにした上で壁に立てかけたりしても構わない。

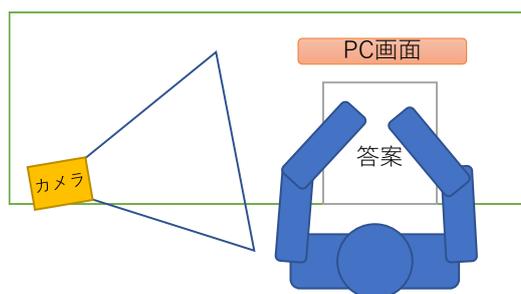


図1 カメラの設置位置の例



図2 望ましいカメラの映像の例

5. 接続チェックまでにオンライン受験者が準備すべきもの
- 5.1 良好かつ安定的なインターネット環境が確保された、試験開始から終了まで一人となる場所（自宅、通学する教育機関等の個室等。以下「試験室」という）。
- 5.2 筆記試験1科目ごとにA4の白紙2枚（1枚は**受験番号を記入**の上、解答用紙として使用し、もう1枚は草稿用紙として使用すること。**解答用紙には受験番号を記入し、氏名を記入してはならない**ので注意すること）。
- 5.3 以下の組み合わせのいずれかで構成される接続機器。
- A) **[推奨]** スマートフォンおよびPC。ともにZoomに接続し、スマートフォンでパソコン画面・手元・顔の3点を同時に映せるようにすること。
- B) 外付けカメラおよびPC。外付けカメラを付けたPCをZoomに接続し、外付けカメラでパソコン画面・手元・顔の3点を同時に映せるようにすること。
- 5.4 各科目終了後、「試験室」において速やかに解答用紙の写真、または、スキャンを作成し（以下「電子化」という）、作成した電子ファイルを提出できる設備。電子化作業時はパソコン画面・手元・顔の3点を映す必要はないが、少なくとも1つの接続機器のカメラはオンである必要があるので注意すること。
6. 接続チェック
- 6.1 **オンライン受験者は8月4日（水）に接続チェックを行うので必ず参加すること。**受験者は試験当日と同じ環境を準備し、事前に指定されたZoomに接続すること。
- 6.2 監督者の指示に従いカメラ等の設置方法の確認した後、監督者から伝えられた筆記試験のZoomのURLや解答用紙提出用のURLをメモすること。

7. 筆記試験当日第1科目開始前

7.1 試験開始 30 分前までに事前に指定された Zoom に接続しカメラの設定を行う。

➤ Zoom とカメラの設定について。

A) **[推奨]** スマートフォンと PC を使用する場合は、スマートフォンのカメラをオンにし、パソコン画面・手元・顔の 3 点が同時に映るように設置した上で、Zoom に接続する。Zoom の名前は「受験番号」にすること。また、名前を「受験番号 (PC)」にした上で PC を Zoom に接続する。スマートフォンのカメラが映らなくなった場合に備え PC のカメラもオンにすることを推奨する。

B) 外付けカメラおよび PC を使用する場合は、外付けカメラをオンにし、パソコン画面・手元・顔の 3 点が同時に映る状態に設置した上で、Zoom に接続する。Zoom の名前は「受験番号」にすること。

➤ 監督者の指示が聞こえるよう PC のスピーカー等をオンにする。ヘッドフォンやイヤフォンを使用しても良い。

➤ 上記以外は、机上に置けるのは対面の試験で認められているもののみ。

7.2 Zoom 接続後、監督者の指示に従い、**自分の顔と受験票を一緒に映す**。

7.3 監督者の指示に従いカメラを動かし部屋に他の人がいないことを示す。

7.4 試験開始 15 分前に全科目のパスワード付き問題 PDF ファイルの URL を監督者が Zoom のチャットを通して伝えるので、各自ダウンロードすること。

8. 各科目の試験中

8.1 試験中、監督者の指示は聞こえる状態にし、必要ない限りマイクはミュートにする。

8.2 科目ごとに開始時間になったら監督者が Zoom のチャット欄を通してパスワードを通知するので各自 PDF を開くこと。

8.3 休憩時間を除く途中離席は原則認めない。

➤ 途中離席した場合はその以降試験終了まで解答用紙に触れることができない。

➤ 第 1 科目開始前、および、科目間の休み時間に監督者に許可を取った上でトイレ等のために離席することは構わないので、希望する場合は申し出ること。

8.4 **以下の行為は不正行為とみなし、該当科目を 0 点として扱う。**

➤ 離席後に解答用紙に触れる。

➤ 誰かと話す、または、同室に自分以外の者を入れる。

➤ 教科書等、許可されていないものを使用する。

➤ パソコン画面・手元・顔（横顔）の 3 点が映らない状態になる（落下物を拾ったり、カメラの位置を調整したりする場合は一瞬であれば構わない）。

➤ 試験問題の閲覧、監督者への対応以外の目的で PC を操作する。

➤ すべての Zoom の接続が切れる、または、すべてのカメラがオフになる。

9. 各科目終了後・筆記試験終了後

- 9.1 各科目終了後に監督者の承認が得られるまで、Zoom 用のカメラに解答用紙全体を映すこと。この際、監督者は画面のスクリーンショットを撮る。
- 9.2 解答用紙を電子化し接続チェックの際に指定された URL に提出する。
 - ファイルのフォーマットは PDF、JPEG、PNG のいずれかとする。
 - 5 分以内に提出できるよう事前に練習しておくこと。
 - 監督者が撮ったスクリーンショットの内容から**修正・追記が確認できた場合は不正行為とみなし、全科目を 0 点として扱う。**
- 9.3 すべての筆記試験が終了し、解答用紙の確認が済んだら、監督者が口頭試問の問題のパスワードを伝えるので、口頭試問の「課題」を確認し、説明用の資料を、口頭試問開始までの時間で作成すること。

10. 口頭試問の実施方法について

- 10.1 口頭試問の受験を必要とする者については、8 月 6 日 (金) 9:30 までに情報学研究科ホームページに掲載する。
- 10.2 口頭試問の対象者は事前に伝えた Zoom に 12:30 までに入り待機すること。待機中はカメラをオフにして良い。待機時間が長時間になる可能性があるが離席する場合は監督者に事前に許可を取ること。許可なく離席していた場合は口頭試問を受けられない場合があるので注意すること。
- 10.3 説明用資料は、手書きで作成した場合は事前にカメラで撮るなどして電子化し、画面共有で表示できるようにしておくこと。
- 10.4 チャットを通して試験官から連絡があるので、指定された Zoom に入り直し、待機室で待機すること。
- 10.5 口頭試問中は、誰かと話したり、「試験室」に自分以外の者を入れたり、説明用資料以外の資料を参照したりしてはならない。ただし、カメラは筆記試験と異なり、自分の顔が映るように設定すること。

11. その他

- 11.1 **オンライン受験者は本文書に記載の不正行為の基準に同意したものとす。**
- 11.2 **詳細な実施方法は状況により変更する場合があります**ので留意すること。
- 11.3 ネットワークトラブル等の不測の事態が発生した場合に備え、接続機器としてスマートフォンおよび PC を使用し、可能であればそれらを異なるネットワークに接続し、いずれのカメラもオンにした上で、Zoom に接続することを推奨する。
- 11.4 試験中に撮影、録画、録音を行わないこと、及びそれらの画像、映像、音声データを SNS 等で配信しないこと。
- 11.5 試験実施に際して知り得た情報を、合格発表まで口外しないこと。